法学概論 II

科目ナンバリング　FUL-102
選択　　2単位

呉　　柏蒼

1. 授業の概要（ねらい）

法は、社会生活では必ず存在する大切なものですが、それを学ぶことは難しい、というイメージが否めません。法学に精通するためには大層な努力が必要ではありますが、実は、気楽に学べば、どなたもその面白さに気がつくはずです。この講義は、できるだけ法学の基礎を簡単に説明し、法を学ぶパートナーとして、社会生活にある様々なことについて、ディスカッションなどを通して法的視点で一緒に考えていきます。

2. 授業の到達目標

法の基礎概念を把握しつつ、法的視点から考える能力を身につけてもらいます。

3. 成績評価の方法および基準

学期に1回程度、レポートを提出してもらいます。定期試験の成績（80%）と授業への積極性を中心とした平常点（20%）を基本にして、レポートの内容を加点要素として総合で評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書
教科書は特に指定しません。授業中、適宜レジュメを配布します。
参考文献
霞信彦〔編〕　法学概論　慶應義塾大学出版会

5. 準備学修の内容

講義内容は前後で関連する部分もありますので、ノートやレジュメを復習することで、その後の授業の理解に役立つでしょう。

6. その他履修上の注意事項

形式を問わず六法を持参してください。

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンス
【第2回】　刑法の意義
【第3回】　犯罪の成立
【第4回】　犯罪の追及
【第5回】　犯罪と刑罰
【第6回】　国民の 司法参加と裁判員制度
【第7回】　犯罪被害者について考えましょう
【第8回】　冤罪について考えましょう
【第9回】　中間まとめ・ディスカッション
【第10回】　少年法
【第11回】　高齢社会と法
【第12回】　情報化社会と法
【第13回】　グローバル社会と法
【第14回】　環境・健康と法
【第15回】　まとめ